

第3学年 算数 評価規準表

単元等	観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
4月	<p>1 かけ算</p> <p>2 計算のしかたを考えよう</p>	<p>1、乗法の交換法則や分配法則などを見つけることができる。また、それらを有効に活用して、0の乗法や十に1位数をかける乗法が確実にできる。乗法の交換法則や分配法則などを見つけることができる。</p> <p>また、0の乗法や十に1位数をかける乗法ができる。乗法の交換法則や分配法則などを確実に理解している。また、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを理解している。</p> <p>乗法の交換法則や分配法則などを理解している。また、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを理解している。除法を用いるよさに気づき、日常生活で進んで使おうとしている。また、除法の場面を簡潔に表せる式のよさに気づいている。</p>	<p>1、乗法に関して成り立つ性質を活用して、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを言葉や図、式を用いて表現し、考えている。乗法に関して成り立つ性質を活用して、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを考えている。</p> <p>2、<math>12 \times 4</math>の答えを求めるために、具体物や図、式などを用いて表現し、既習事項をどのように活用すればよいかを考えながら、いろいろな方法を考えている。</p> <p><math>12 \times 4</math>の答えを求めるために、具体物や図、式などを用いて表現し、既習事項を使って考えている。</p>	<p>1、九九表や乗法の用いられる場面を通して、乗法は被乗数と乗数を入れ替えても答えは同じになるなど、乗法に関して成り立つきまりのよさに気づき、それらを進んで活用しながら課題を解決しようとしている。九九表や乗法の用いられる場面を通して、乗法に関して成り立つきまりのよさに気づき、それらを活用しようとしている。</p> <p>2、乗法九九の範囲をこえる乗法の問題に、既習事項を使って、自ら進んでいろいろな方法を考え出そうとしている。</p> <p>乗法九九の範囲をこえる乗法の問題に、既習事項を使って取り組もうとしている。</p>
5月	<p>3 時ごとと時間</p> <p>4 わり算</p>	<p>3、ストップウォッチを正しく用いて時間を測定したり、60進法の考えをもとに、必要な時間や時刻を正確に求めることができる。ストップウォッチを用いて時間を測定したり、時間や時刻を求めたりできる。60進法の考えが分かり、単位の関係をもとに、必要な時間や時刻の求め方を理解している。時間の単位「秒」と、分と秒の関係、時間と時刻の求め方を理解している。</p> <p>4、等分除や包含除の関係を意識しながら、除法の場面を式などに表したり、乗法九九を用いて除法の答えを的確に求めることができる。また、除法が用いられる場面を図などを用いて考え、式に表したり、式を読み取ったりすることができる。除法の場面を、絵・図・式を使って表したり、乗法九九を用いて答えを求めたりできる。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。等分除や包含除を含めた除法の意味や、乗法九九を用いた除法の答えの求め方を的確に理解している。また、図や式に表したり、式を読み取って図や具体的な場面に表したりすることを通して、除法が用いられる場面の数量の関係を理解している。除法が用いられる場面や除法の意味、乗法九九を用いた除法の答えの求め方を理解している。また、式に表したり、式を読み取ったりすることを通して、除法が用いられる場面の数量の関係を理解している。</p>	<p>3、秒・分・時の関係が60進法に基づいていることから、具体物や図、式を用いて、時間や時刻の求め方を考えている。</p> <p>具体物や図、既習の乗法を用いて、除法の答えを見つける方法を考えている。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を具体的な場面に結びつけてとらえている。</p> <p>除法の場面を、絵・図・式を使って表したり、乗法九九を用いて答えを求めたりできる。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。</p> <p>4、具体的な操作と関連づけながら、具体物や図、既習の乗法を用いて除法の答えを見つける方法を考えたり、計算のしかたをまとめたりしている。また、除法が用いられる場面を図などを用いて考え、式に表したり、式を具体的な場面に結びつけてとらえている。</p> <p>具体物や図、既習の乗法を用いて、除法の答えを見つける方法を考えている。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を具体的な場面に結びつけてとらえている。</p>	<p>3、日常生活の中から「秒」を単位として測定する場面を見つけて、進んで実測したり時間を予想したりしている。</p> <p>日常生活の中から「秒」を単位として測定する場面を見つけて、実測したり感覚的に時間を計ったりしようとしている。</p> <p>4、日常生活の中から、除法に関わる場面を進んで探し出し、問題作りなどに活用しようとしている。また、除法の場面を簡潔に表せる式のよさに気づき、活用しようとしている。</p> <p>日常生活の中から、除法の問題場面を探し出し、日常場面と関連づけようとしている。また、除法の場面を簡潔に表せる式のよさに気づいている。</p>
6		<p>5、除法の筆算のしかたなどから、わり切れる場合とわり切れない場合も、同じ除法の計算として統合的に見られることを理解している。余り</p>	<p>5、余りのある除法を考える際、九九を想起し余りが出るかどうか判断したり、余りが除数より小さくなることなどに気づいている。</p> <p>余りのある除法も、具体物や図を用いて考え、既習の除法と同じよう</p>	<p>5、余りのある除法の問題について、具体的な場面の中で考え、余りの処理などに関して自分なりの解決法を見つけ出そうとしている。</p> <p>余りのある除法の問題について、進んで解決しようとしている。</p>

月	<p>5 あまりのあるわり算 6 たし算とひき算</p>	<p>が出る場合も、除法として処理できることや、除法の筆算のしかたを理解している。余りのある除法の計算が正しくできる。また、問題場面に即した余りの処理が的確にできる。余りのある除法の計算や余りの処理が九九や減法を使ってできる。</p> <p>6、加法や減法の計算が、2位数などの基本的な計算をもとにできることなどを理解し、2位数の計算のしかたと関連させながら、筆算形式による3位数や4位数の加法や減法の計算のしかたを理解している。筆算形式による3位数や4位数の加法や減法の計算のしかたや、加法や減法の計算が、2位数などの基本的な計算をもとにできることなどを理解している。筆算形式による3位数や4位数の加法や減法の計算及び確かめの計算を、繰り上がりに気をつけて、速く正確にできる。筆算形式による3位数や4位数の加法や減法の計算及び確かめの計算ができる。</p>	<p>に考えればよいことに気づいている。</p> <p>6、3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、2位数の計算原理をもとに、類推的に考え、言葉や図を用いてまとめている。</p> <p>3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、2位数の計算原理をもとに、考えている。</p>	<p>6、3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを考える際に、関係ある既習事項は何かを意識しながら、考えようとしている。</p> <p>3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、自ら進んで考えようとしている。</p>
7月	<p>7 表とグラフ 8 かけ算の筆算</p>	<p>7、落ちや重なりがないような資料の整理のしかた、表のまとめ方、棒グラフの読み方やかき方を確実に理解している。資料の整理のしかた、表のまとめ方、棒グラフの読み方やかき方を理解している。表やグラフを手際よく読んだりかいたりできる。表やグラフをかく際、手際よく資料を集めたり、分かりやすく整理したりできる。また、棒グラフから集団のもつ全体的な傾向を読み取ることができる。表やグラフを読んだりかいたりできる。また、棒グラフから集団のもつ全体的な傾向を読み取ることができる。</p> <p>8、乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにできることなどを理解し、乗法九九と関連させながら、(2, 3位数)×(1位数)の筆算のしかたを理解している。また、乗法の場面を絵や図に表す方法を理解している。(2, 3位数)×(1位数)の筆算のしかたや、乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解している。(2, 3位数)×(1位数)の計算を筆算で確実にできる。また、乗法の問題を解決する際、場面を絵や図に表して考えることができる。(2, 3位数)×(1位数)の計算を筆算でできる。</p>	<p>7、資料整理の観点を、落ちや重なりがないように決め、それに応じた分類整理の方法を考えている。また、グラフ用紙の1目盛りの大きさを考えたり、目的にあった最小目盛りを考えるなど工夫している。</p> <p>資料整理の観点を決め、それに応じた分類整理の方法を考えている。</p> <p>8、既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2,3位数)×(1位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えたり、分かりやすくまとめている。既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2,3位数)×(1位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えている。</p>	<p>7、身の回りの事象から、目的をもって資料を集め、それを分類整理して、集団の特徴や傾向を考えようとしている。また、表やグラフのよさが分かり、日常生活のいろいろな場面で、これらを積極的に用いようとしている。身の回りの事象から、資料を集め、それを分類整理して、集団の特徴や傾向を考えようとしている。また、表やグラフの特徴が分かり、進んで用いようとしている。</p> <p>8、2位数や3位数に1位数をかける計算のしかたを考えたり、この考えを活用するよさに気づき、進んで生活に生かそうとしている。2位数や3位数に1位数をかける計算のしかたを考えたり、この考えを活用するよさに気づいている。</p>
9		<p>9、十進位取り記数法の仕組みをもとに、規則性に着目しながら、千万</p>	<p>9、十進位取り記数法の仕組みのよさに気づき、それを活用して数の読</p>	<p>9、大きい数を、既習の十進位取り記数法で考えようとする。また、大きい</p>

月	9 大きい数	<p>の位までの数の構成を理解し、十進位取り記数法の理解を深めている。また、数の相対的な大きさなどの理解を深め、数についての豊かな感覚をもっている。千万の位までの数の構成を理解し、十進位取り記数法の理解を深めている。また、数の相対的な大きさなどの理解を深め、数についての豊かな感覚をもっている。十進位取り記数法をもとに、千万の位までの数に対し、読み書きや数直線上の位置、大小比較などが的確にできる。また、10倍、100倍、1000倍や10でわったりした数を手際よく求めることができる。千万の位までの数に対し、読み書きや数直線上の位置、大小比較などができる。また、10倍、100倍、1000倍や10でわったりした数を求めることができる。</p>	<p>み方を考えたり、数の相対的な大きさを活用して計算のしかたを工夫している。十進位取り記数法の仕組みを活用して、数の読み方を考えたり、数の相対的な大きさを考えたりしている。</p>	<p>数を身の回りから探したりして、数の大きさを実感し、日常生活に進んで使おうとしている。大きい数を身の回りから探したりして、数の大きさを実感している。</p>
10月	10 長さ 11 円と球	<p>10、長さの単位1kmを知り、単位が十進構造になっていることを基に、他の長さの単位との関係を理解している。また、1kmのおよその大きさの見当をつけたり、単位や計器を適切に選択することを通して、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。長さの単位1kmを知り、他の長さの単位との関係を理解している。また、1kmのおよその大きさの見当をつけるなど、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。目的に応じて使う巻尺や定規などを正しく選び、廊下の長さや教室の長さなど、身の回りのものの長さを正確に測ることができる。kmやmを単位として長さを正確に表したりすることができる。巻尺を使って、廊下の長さや教室の長さなど、身の回りのものの長さを測ったり、kmやmを単位として長さを表したりすることができる。</p> <p>11、円や球の定義や性質や、それぞれのもつ構成要素の関係を理解し、円と球の共通性を理解している。円や球の定義や性質や、それぞれのもつ構成要素の関係を理解している。コンパスを使って指定された半径の円を手際よくかいたり、折れ線の長さを正確に写し取ったりできる。コンパスを使って指定された半径の円をかいたり、折れ線の長さを写し取ったりできる。</p>	<p>10、1kmは1mを1000個集めてできる単位など、必要に応じて新しい単位を考えることができる。また、長さの単位のkmとmの関係が分かり、目的に応じて適切な単位を選んだり、測定の対象によって適切な計器を選んだりすることを考えている。長さの単位のkmとmの関係が分かり、目的に応じて単位を選んだり、測定の対象によって適切な計器を選んだりすることを考えている。</p> <p>11、調べた結果から、半径がみな等しいこと、直径が半径の2倍であることなど、円や球の特徴を、帰納的に考え、どの円でもいえるかどうかを確かめ、特徴を見いだしている。調べた結果から、半径がみな等しいこと、直径が半径の2倍であることなど、円や球の特徴を、帰納的に考えている。</p>	<p>10、長い長さや丸まっているものを測るときに便利であるという巻尺のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。また、目的に応じて、cm、m、kmなどの単位や計器を適切に選び、進んで測定しようとしている。巻尺について関心をもち、長いものや丸まっているものを測りやすいなどの特性が分かり、測定の対象に応じて器具を選び、進んで測定しようとしている。</p> <p>11、身の回りのまるい形のものを探ることができ、円的美しさや球の特徴などにも関心をもっている。また、円の特徴を生かして美しい模様を作ろうとしている。身の回りにあるまるい形のものを探したり、コンパスを使って様々な模様を作ろうとしている。</p>
11月	12 小数	<p>12、整数の十進位取り記数法の考えをもとに、小数の意味とその表し方、小数の計算のしかたを理解している。また、整数をもとに、小数の構成や大きさ、相対的な大きさなどについての豊かな感覚をもっている。小数の意味とその表し方、小数の計算のしかたを理解している。また、整数を基に、小数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。小数をいろいろな図に表したり、小数の加法や減法を十進位取り記数法と関連させて、計算することができる。小数を図に表したり、簡単な場合の加法や減法の計算ができる。</p>	<p>12、整数の十進位取り記数法の考えをもとにして、1を十等分して新しい単位を作るなど、拡張して考え、端数部分の表し方や小数の計算のしかたを、具体物や図を用いて考え見いだしている。小数の表し方や計算のしかたが、整数の場合と同じようにできることに気づき、整数の表し方や計算のしかたをもとに、考えている。</p>	<p>12、もとにする単位を10等分して端数部分を数値化するよさに気づき、Lやmなどの基本単位にも小数を使って考え、進んで小数で表そうとしている。1dLより小さい端数部分を数値化する必要性を感じ、その表し方や大小比較の方法を考えようとしている。</p>
12		13、定義から二等辺三角形と正三角形の違いが分かり、性質としての	13、三角形について、違いに気づき分類し、図形の相違点や共通点に	13、身の回りから、二等辺三角形や正三角形の形をしたものを見つけよう

月	13 三角形	<p>違いを理解している。また、敷き詰め活動を通して、できた模様の特徴を見いだしたり、美しさ感じたりして、図形についての豊かな感覚をもっている。二等辺三角形、正三角形の定義・特徴や図形としての角の意味を理解している。また、敷き詰め活動を通して、できた模様の美しさを感じるなど、図形についての豊かな感覚をもっている。二等辺三角形や正三角形の定義を活用した手際の良い作図ができる。コンパスを活用して、二等辺三角形や正三角形の作図をしたり、辺の長さに着目してストローで構成したりできる。</p>	<p>着目しながら、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を言葉や図などを用いて表現している。また、角の大小や辺の長さを調べ、二等辺三角形と正三角形の性質を帰納的に見だし、正三角形は二等辺三角形の特別な形であることに気づいている。三角形について、違いに気づき分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。また、角の大小や辺の長さを調べ、二等辺三角形と正三角形の性質を帰納的に見いだしている。</p>	<p>とし、その形の有用性についても考えようとする。また、三角形を敷き詰める活動を通して、模様的美しさなどに気づいている。身の回りから、二等辺三角形や正三角形の形をしたものを見つけようとする。また、三角形を敷き詰めて美しい模様を作ろうとしている。</p>
1 月	14 2けたのかけ算 15 分数	<p>14、既習の乗法や計算のきまりをもとに、乗数が2位数になっても、計算のしかたは変わらないことを理解し、筆算の手順について、それぞれの意味を理解している。乗数が2位数になっても、乗数を位ごとに分けて計算し、その部分積をたすと積が求められるという筆算の意味を理解している。(2, 3位数)×(2位数)の筆算が繰り上がりなどに気をつけながら、正確にできる。(2, 3位数)×(2位数)の筆算ができる。</p> <p>15、単位分数をもとにして、分数の意味と表し方、分数の加減の意味やしかたを理解している。また、単位分数の大きさなどを理解し、分数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。単位分数をもとにして、分数の意味と表し方を理解している。また、分数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。はしたの大きさに合う単位分数を読み取り、分数を用いて表したり、数直線上に表したりできる。単位分数の何個分かを数え、分数を用いて表すことができる。</p>	<p>14、既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2, 3位数)×(2位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えたり、分かりやすくまとめている。既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2, 3位数)×(2位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えたり。</p> <p>15、都合のよい大きさの単位分数をもとに、その何個分として表すことを見だし、小数との違いを考えている。分数の表し方を考えたり、また、加減の計算のしかたを、具体物や図を用いて表し、まとめている。</p> <p>都合のよい大きさの単位分数をもとに、その何個分として表すことを見いだしている。また、具体物や図を用いて、単位分数の何個分になるかを調べ、計算のしかたを考えている。</p>	<p>14、(2, 3位数)×(2位数)の計算のしかたを考える際に、既習事項を活用して計算のしかたを見つけ、進んで計算に取り組みようとしている。(2, 3位数)×(2位数)計算のしかたを考える際に、既習事項を活用して計算のしかたを見つけようとしている。</p> <p>15、都合のよい大きさの単位分数をもとに、その何個分として表すことを見だし、小数との違いを考えている。分数の表し方を考えたり、また、加減の計算のしかたを、具体物や図を用いて表し、まとめている。</p> <p>都合のよい大きさの単位分数をもとに、その何個分として表すことを見いだしている。また、具体物や図を用いて、単位分数の何個分になるかを調べ、計算のしかたを考えている。</p>
2		16、重さの単位「g」「1kg」を知り、単位が千進構造になっていることにもとに、単位との関係を理解している。また、11、12のかけ算	16、ものの重さも、単位とする重さを決め、そのいくつかで表せるこ	16、重さを数値化するアイデアを探したり、形と重さの変化の関係を探

<p>3月</p>	<p>16 重さ 17 □を使った式</p>	<p>とをともに、単位との関係を理解している。また、1kg, 1gのおよその大きさの見当をつけたり、単位や計器を適切に選択することを通して、重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。重さが測定できる量であることを知り、重さの単位として「g」、「kg」があることを理解している。また、1kg, 1gのおよその大きさの見当をつけるなど、重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。gやkgの単位を用いて、その重さを数値で的確に表したり、計算したりできる。また、kgとgの単位換算ができる。gやkgの単位を用いて、その重さを数値で表したり、計算したりできる。</p> <p>17、□は未知の数量を表す記号であることを理解し、数量の関係を□を使った式で表すと、簡潔に図や式に表せるよさを理解している。□は未知の数量を表す記号であることを理解し、数量の関係を、式や図に表すことができることを理解している。図や言葉の式をもとに、分からない数を□として、文脈通りに数量の関係を式に表し、□にあてはまる数を調べることができる。図や言葉の式をもとに、分からない数を□として、文脈通りに数量の関係を式に表すことができる。</p>	<p>とを見いだすとともに、普遍単位の必要やそのよさを考えている。また、目的に応じて、単位や計器を適切に選ぶことを考えている。ものの重さも、単位とする重さを決め、そのいくつ分で表せることを見いだしている。また、目的に応じて、単位や計器を選ぶことを考えている。</p> <p>17、□を使って式に表したり、図に表したりすることで、数量の関係を的確にとらえている。また、図や式を用いて、□に入る数を考えている。数量の関係を図や□を使った式で表し、数量の関係を考えている。また、□に入る数を、□に数をあてはめて考えている。</p>	<p>そうとするなど、楽しんでものの重さを測ろうとしている。また、目的に応じて、単位や計器を適切に選んで測定しようとしている。てんびんやはかりなどで、進んで重さを測ろうとしている。また、目的に応じて、単位や計器を選んで測定しようとしている。</p> <p>17、図や言葉の式をもとに、分からない数を□として、文脈通りに数量の関係を式に表して、□にあてはまる数を調べようとしている。図や言葉の式をもとに、分からない数を□として、文脈通りに数量の関係を式に表そうとしている。</p>
<p>3月</p>	<p>18 そろばん 19 3年のまとめ</p>	<p>のしかたを理解し、数や計算についての理解を深めている。そろばんの各部の名称や数の表し方や、簡単な加法や減法の計算のしかたを理解している。そろばんの手順にしたがって、簡単な加法や減法の計算を発展させ、桁数を増やした計算もできる。そろばんの手順にしたがって、簡単な加法や減法の計算ができる。</p> <p>19、3年で学習した用語や定義、性質を的確に理解している。3年で学習した用語や定義、性質を理解している。3年で学習した計算や作図が的確にできる。3年で学習した計算や作図ができる。</p>	<p>18、10や5の補数を使って計算する方法を考えつき、それを計算に活用するとともに、これまで習った計算方法と比べて考えている。10や5の補数を使って計算する方法を考えつき、それを計算に活用できることを見いだしている。</p> <p>19、3年の学習に関する見方や考え方を確かめたり、その関係を考えたり、活用したりしている。3年の学習に関する見方や考え方を確かめたり、その関係を考えたりしている。</p>	<p>18、そろばんの仕組みや使い方に関心をもち、それを調べたり、そろばんを使っていろいろな計算をしようとしている。そろばんの仕組みや使い方に関心をもち、進んでそろばんで計算しようとしている。</p> <p>19、3年で学習したことに進んで取り組んだり見直したりして、学習のまとめをしようとしている。3年で学習したことに進んで取り組み、学習のまとめをしようとしている。</p>

